

2024年12月9日

三井住友海上火災保険株式会社  
MS&ADシステムズ株式会社

## 第42回IT賞において「IT奨励賞（マネジメント領域）」を受賞

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）とMS&ADシステムズ株式会社（社長：津田 卓也）は、公益社団法人企業情報化協会（会長：山内 雅喜、以下「IT協会」）が主催する2024年度（第42回）IT賞において、「IT奨励賞（マネジメント領域）」を受賞しました。

両社は、アジャイル開発<sup>※1</sup>の基盤となる「MS Agility Platform」<sup>※2</sup>の構築・活用により、ヒューマンエラーを防止し、作業時間の短縮および品質向上を実現したことが評価され、受賞に至りました。今後も、本基盤を通じて、アジャイル開発の拡大を進め、社会のデジタル化やビジネス環境の激しい変化に対応する、迅速かつ適切なサービス開発や展開を進めていきます。

※1：システムやソフトウェアにおけるプロジェクト開発手法の一つで、短期間で開発を繰り返し、開発中に発生する状況の変化に対応しながら開発を進める手法。

※2：[アジャイル開発の新基盤「MS Agility Platform」を構築](#)（2024年3月27日ニュースリリース）

### 1. 「IT賞」の概要

日本の産業界ならびに行政機関等の業務における事業創造、効果的なビジネスモデルの構築・促進、生産性向上など、「ITを高度に活用したビジネス革新」に顕著な努力を払い成果を挙げたと認められる企業や団体、機関および個人に対して、IT協会が表彰する制度<sup>※3</sup>です。

1983年に創設され、42回目となる今回は計36件が受賞しました。

※3：IT協会 Webサイト (<https://jiit.or.jp/awards/it/>)



### 2. 受賞内容

表彰名	IT奨励賞（マネジメント領域）
受賞テーマ	品質向上、効率化を実現するアジャイル開発基盤「MS Agility Platform」の構築
受賞理由	<ul style="list-style-type: none"><li>開発プロセスの自動化やAIを用いた効率化を実現する基盤の整備を行ったこと。</li><li>迅速なサービス提供に必要なシステム開発の高速化に向け、アジャイル開発に適したシステム基盤としてDevOps<sup>※4</sup>プラットフォームを構築したこと。</li><li>開発案件に適用した結果、手作業と比べてデプロイ<sup>※5</sup>の作業時間を10分の1に短縮し、ヒューマンエラーの防止等、品質向上への貢献も認められること。</li><li>金融機関における厳しいセキュリティ基準を満たしたSaaS<sup>※6</sup>を利用し、基盤の構築、および保守・運用を内製化していること。</li></ul>

※4：アプリケーションの開発、テスト、リリース、および運用を自動化するためのツール提供基盤。

※5：開発したソフトウェアやアプリケーションを、実際の運用環境に配置して利用できる状態にする作業。

※6：Software as a Serviceの略称。ソフトウェアをインターネット経由で提供するサービスモデル。

以上